

2019年度事業報告及び令和2年度事業計画

【運 営】

1. 会議等（地区社協の運営に関する事項の検討）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	2019年度実績	令和2年度の取り組み
役員会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 理事会及び総務会に付議する事項 地区社協の事業運営の調整に関する事項 その他必要な事項 ●開催日：毎月第3木曜日9：30～ 	<ul style="list-style-type: none"> 運営について精査・充実を図る 高齢者事業に関する体制を検討 	【取り組み状況】 ○毎月第3木曜日開催、部への情報提供、強化、地区社協のマネジメント発揮 ○計11回開催、142名出席	<ul style="list-style-type: none"> 現状の取り組みを継続する。
総務会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 理事会に付議すべき事項 地区社協の事業運営に関する事項 理事会の決議で委任された事項 その他必要な事項 	<ul style="list-style-type: none"> 運営の内容について継続 	【取り組み状況】 ○年2回開催 ・第1回：5月18日、20名出席 ・第2回：6月29日、19名出席	<ul style="list-style-type: none"> 現状の取り組みを継続する。
理事会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 規約の制定及び改廃に関する事項 役員の改選に関する事項 事業計画及び予算に関する事項 事業報告及び決算に関する事項 その他重要事項 	<ul style="list-style-type: none"> 運営の内容について継続 	【取り組み状況】 ○年2回開催 ・第1回：5月25日、40名出席 ・第2回：6月29日、44名出席	<ul style="list-style-type: none"> 現状の取り組みを継続する。

【事 業】

1. 向こう三軒両隣で支え合える地域づくり（地域づくり部・ネットワーク部・広報部）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	2019年度実績	令和2年度の取り組み
ふれあいの場、仲間づくりの場の推進（ふれあいサロン事業）	子育てサロン	地域づくり部	子育て家庭の親子を対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、育児に関する不安や悩みを解消するために開催。 ●子育てサロン「さんわほかほか」 ・開催日：毎月第2水曜日 10:00～11:30（8,1月休み） ・会 場：三和保健福祉センター プレイルーム	<ul style="list-style-type: none"> 季節行事、知育玩具等を取り入れ、参加者が楽しめるふれあいの場になるよう努める。 子育てネウボラセンター（子育て支援制度）の活動に協力し子育て家庭親子の支援に努める。 	【取り組み状況】 ・2019年度から開催日をサンハート児童館の休室日である月曜日に変更して実施。（毎月第4月曜日 10:00～11:30 実施、8,1月は休み） ※新型コロナウイルスの影響で3月休み ・参加者 202名、支援者 153名 【課題等】 ・少子化、保育所等への入所に起因する参加者の減少	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
いきいきサロン	市西小学校区小域福祉ネットワーク部	ネットワーク部	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年数回 13:30～15:00 ・会 場：福増公民館	<ul style="list-style-type: none"> 会場数を増やすとともに、自主運営ができるような体制を検討する。 	【取り組み状況】 ・「月1回の通いの場事業」の推進を図るため、2019年度は休止。	<ul style="list-style-type: none"> 休止とする。ただし、地域からサロン実施の要望がある場合は実施に向けて検討する。

			海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年3回 13:30～15:00 ・会 場：町会輪番制	・町会輪番制を行うことにより、地区内の高齢者が参加しやすい環境を整える。また、町会主体で自主運営ができるような体制を検討する。		
			養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年3回 13:30～15:00 ・会 場：町会輪番制	・町会輪番制を行うことにより、地区内の高齢者が参加しやすい環境を整える。また、町会主体で自主運営ができるような体制を検討する。 ・小学校と連携し、世代間交流が図れるようなあり方を検討する。		
高齢者の日常的な見守り活動の推進 (安心生活見守り支援事業)	ネットワーク部		市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。	【取り組み状況】 ・市西地区 見守り対象者：59名 安心訪問員：29名 訪問回数：781回 ・養老地区 見守り対象者：33名 安心訪問員：26名 訪問回数：549回 ・海上地区 見守り対象者：22名 安心訪問員：22名 訪問回数：300回 ・光風台地区 見守り対象者：15名 安心訪問員：26名 訪問回数：523回 【課題等】 ・安心訪問員同士の顔の見える関係づくり（フォローアップ研修での交流促進） ・新たな対象者の掘り起こし ・活動を継続できる安心訪問員の発掘	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
			海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。		
			養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。		
			光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。 ・見守り対象者：対象制限を設けず実施		
高齢者の通いの場づくりへの取り組み (通いの場事業)	地域づくり部	新規		地域住民が「日常的に」「住んでいる地域で」「地域の方とふれあう」ことが出来る場である「通いの場」の開催を支援する。	・町会と連携し、地域住民の身近な場所で「通いの場」が開催されるよう検討し、事業の支援に努める。	【取り組み状況】 ・申請団体 21 町会 29 団体が実施。 ①市西地区 : 6町会 10団体 ②養老地区 : 9町会 9団体 ③海上地区 : 6町会 7団体 ④光風台地区: 地区内 3団体 ・地区内の開催回数: 330回 ・地区内の参加者数: 延べ 6,184名 【課題等】 ・「週 1 回の通いの場事業」への移行促進		

	ネットワーク部	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	新規	<p>高齢者を対象に元気を高め、健康寿命を延ばすことを目的に、気軽に立ち寄れる「参加型ふれあいサロン」を開催。</p> <p>●光風台ふれあいサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：週1回 ・会場：光風台自治会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康寿命を延ばすため、週1回開催の継続実施および事業内容の充実に努める。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～2月：39回 ※3月は新型コロナウイルスの影響で休み 参加者総数 1,620名 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人員の増加により会場が手狭になる傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数を増加させるなど事業の拡充を図りながら、現状の取り組みを継続する。 																										
広報活動の充実 (広報啓発事業)	広報部		継続	<p>広報紙「さわかぜ」を親しみやすく、わかりやすい紙面で作成し、地区社協活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。</p> <p>●発行時期：8月、2月（他、増刊号は随時発行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報紙の役割や使命は何か？」という原点に立ち、読み手が興味を持つ記事内容を発行時期に合わせ検討し、定期発行の他に、増刊号は随時発行することに努める。 	<p>【取り組み状況】</p> <p>◇発行サイクル倍増と経費圧縮を同時実現。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従来年2回の発行を年4回発行へと転換。 2. 従来の回覧配布から全戸別配布制へと転換。 3. 印刷事業者変更により大幅経費削減を実現。 <p><以下新旧相異比較></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度(旧)</th> <th>F元年度(新)</th> <th>CD率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">発行部数</td> <td>1,200部</td> <td>20,000部</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>600部/回</td> <td>5,000部/回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発注先</td> <td>回覧配布</td> <td>全戸別配布</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>千代田印刷(有)</td> <td>印刷通販プリントパック</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">発行経費</td> <td>101.56円/部あたり</td> <td>3.95円/1部あたり</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>60,941円/1回</td> <td>19,795円/回</td> <td>67.5%</td> </tr> <tr> <td>121,882円/年</td> <td>79,180円/年</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p><以下発行紙ダイジェスト></p> <p>○第15号→6月7日発行</p> <p><1面>特集：会長対談記事「2019年度活動方針と各取り組み指針の周知」</p> <p><2面>たすけあい事業部活動紹介、シリーズ企画：回顧録④（谷光彦氏）</p> <p>○第16号→9月4日発行</p> <p><1面>特集：運転免許返納者の声と市デマンド施策および取り組み事例紹介</p> <p><2面>地区内高齢者の健康意識紹介、シリーズ企画：回顧録①（前田佳正氏）</p> <p>○第17号→12月7日発行</p> <p><1面>特集：台風被害調査状況紹介、安心・安全部調査結果と防災意識の啓蒙</p> <p><2面>三和地区バザー取り組み紹介、光風台丘の上サロンの紹介、シ</p>		H27年度(旧)	F元年度(新)	CD率	発行部数	1,200部	20,000部	/	600部/回	5,000部/回	発注先	回覧配布	全戸別配布	/	千代田印刷(有)	印刷通販プリントパック	発行経費	101.56円/部あたり	3.95円/1部あたり	96.1%	60,941円/1回	19,795円/回	67.5%	121,882円/年	79,180円/年	35.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の発行体制を継続する。 ・必要に応じ号外発行も考慮する。 ・紙面の更なる充実に向けて編集委員会、各部との連携を深める。 ・地域広報紙として引き続き地域課題に着目した紙面編集に努める。
		H27年度(旧)	F元年度(新)	CD率																													
	発行部数	1,200部	20,000部	/																													
		600部/回	5,000部/回																														
発注先	回覧配布	全戸別配布	/																														
	千代田印刷(有)	印刷通販プリントパック																															
発行経費	101.56円/部あたり	3.95円/1部あたり	96.1%																														
	60,941円/1回	19,795円/回	67.5%																														
	121,882円/年	79,180円/年	35.0%																														
ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地区社協広報紙「さわかぜ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。</p> <p>●発行時期：8月、2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。 																													
ネットワーク部	海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地区社協広報紙「さわかぜ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。</p> <p>●発行時期：8月、2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。 																													
ネットワーク部	養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地区社協広報紙「さわかぜ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。</p> <p>●発行時期：8月、2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。 																													

						<p>リース企画；回顧録②（前田佳正氏） ○第18号→ 3月4日発行 <1面>特集；紙上座談会（市西・養老・海上各町会長）「この1年を振り返る通いの場&次年度への抱負」 <2面>安心・安全部災害への備え研修紹介、歳末福祉事業地区活動紹介、シリーズ企画；回顧録③（前田佳正氏） 【課題等】 <紙面評価に関して> ◇紙面内容を客観的に評価する仕組みが現状はない。 ◇読者の声を聞く仕組みが必要。 ◇今後、モニター制度等の導入を課題として検討していききたい。 <より親しみを持てる紙面に向けて> ◇身近な話題の提供手段として通信員制度を設けてあるが、今年度はその機能を十分に発揮しきれなかった反省に立ち、通信員との連携の在り方も課題としていききたい。 <自由度の高い紙面構成に向けて> ◇現状紙面はPCのExcel機能によって作成していることから、機能上の制約がある。 ◇より自由度の高い編集アプリケーションソフト（イラストレータ等）も市販されており、それらの導入も今後へ向けた検討課題としていききたい。</p>		
			光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地区社協広報紙「さわかせ」への掲載及び広報紙「あったか地域福祉光風台」を作成し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、10月、2月、3月</p>	<p>・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させることに努める。併せて、より細かな情報としてネットワーク独自の広報紙にて更なる地域住民の理解を深めることに努める。</p>	<p>【取り組み状況】 ・発行：9月1日、3月1日 ・合計発行部数：5,000部（1回あたり2,500部）</p>	
<p>交流の場、支え合い・助け合い活動の推進（地域福祉支援事業・世代間交流）</p>	<p>世代間交流</p>	<p>ネットワーク部</p>	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>高齢者と子どもたちの交流を通して、高齢者の知識と経験を子どもたちに伝え、相互理解を図ることを目的に実施。 ●小野山ごろごろ会（そうめん流し） 伝承あそび（竹馬、こま回し等） グランドゴルフ</p>	<p>・現状の取り組みを継続</p>	<p>【取り組み状況】 ・小野山ごろごろ会（そうめん流し）への協力：7月15日（月）、23名参加（準備を含む延人数） ・小学校行事（伝承あそび）への協力11月8日（金）、11名参加</p>	<p>・現状の取り組みを継続する。</p>
			海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>高齢者と子どもたちの交流を通して、高齢者の知識と経験を子どもたちに伝え、相互理解を図ることを目的に実施。 ●海上もりもり会（そうめん流し）</p>	<p>・現状の取り組みを継続</p>		
	<p>地域福祉支援事業</p>	<p>ネットワーク部</p>	<p>海上小学校区小域福祉ネットワーク</p>	新規	<p>年末年始を一人で過ごす一人暮らし高齢者等を対象に、町会長、安心訪問員の協力による「海苔」の宅配を通じて、孤立感・不安感の解消、地区内の安心生活見守り支援事業の周知による対象者拡大、地域住民同士の信頼関係の強化を図る為に実施。</p>	<p>・地域住民が抱える現実的な課題・要望等を把握し、提起された課題に対し、その解決策や具現化について検討。 ・各種地域福祉活動への参加促進</p>	<p>【取り組み状況】 ・12月クリスマス時期 ・対象者22名</p>	<p>・事業の充実を図りながら、現状の取り組みを継続する。</p>

		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	年末年始を一人で過ごす一人暮らし高齢者を対象に、町会長、民生委員、隣人の協力を得て「クリスマス料理」を宅配することで、地域における地縁等の交流の中で、新年を迎える新たな希望・喜びを分かち合い、見守りや傾聴を行うと共に、孤立感・不安感の解消を図る為に実施。 ●「ようろう絆の会」	・「ようろう絆の会」の事業を通じ、町会内の福祉事業の担い手を育てることに努め、事業の充実を図る。	【取り組み状況】 ・12月20日（金）配食 ・対象者33名	・事業の充実を図りながら、現状の取り組みを継続する。
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	年末年始を自宅において一人で過ごす一人暮らし高齢者を対象に、民生委員の協力を得て「おせち料理」を宅配することで、地域における地縁やつながりのなかでお正月を迎える喜びを分かち合い、安否や体調状況を確認するとともに、孤独感・孤立感・不安感の解消を図る為に実施。	・事業の充実を図り、対象者の個人負担軽減に努める。	【取り組み状況】 ・12月31日（火）配食 ・対象者23名	・事業の充実を図りながら、現状の取り組みを継続する。
たすけあい運動の推進（福祉バザー、たすけあい募金）	地域づくり		継続	共同募金会「歳末たすけあい運動」への協力と、あわせて社会福祉協議会の地域福祉の推進および在宅福祉事業の強化を目指し財源確保の為、「福祉バザー」を開催。	・献品や売上げの減少、担い手不足等の課題を精査し、新たな「歳末たすけあい運動」の協力体制を検討する。	【取り組み状況】 ・11月3日（日）実施 ・来場者数：約150人 ・バザー結果：217,710円（売上金160,810円、寄付金56,900円） ・活動者数：113名（献品受付13名、準備日45名、当日55名） 【課題等】 ・献品数や売上げの減少 ・開催趣旨の理解促進	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。 ・11月1日（日）開催予定
地域あいさつ運動（啓発看板の設置）	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・継続して設置	・現状の取り組みを継続する。
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続		
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続		

2. みんなが自由に楽しく暮らせる地域づくり（生活支援部・たすけあい事業部・ネットワーク部・第2層協議体）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	2019年度実績	令和2年度の取り組み
身近な相談窓口の設置・充実（相談支援事業）	生活支援部	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、地区社協事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●ふれあいいきいきサロン事業（子育てサロン） ●たすけあい三和 ●通いの場	・現状の取り組みを継続する。また、相談内容を精査し、課題等を解決する為の取り組みに繋げる。	【取り組み状況】 ・子育てサロン事業を通じて参加者の相談に応じた。 支援者：153名 相談件数：11件 【課題等】 ・子育て家庭以外の地域住民への対応	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
	ネットワーク部	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につな	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・事業を通じて相談に応じる。	・現状の取り組みを継続する。

	ク		<p>げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいいきいきサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業 			
	海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいいきいきサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業 	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・事業を通じて相談に応じる。	・現状の取り組みを継続する。
	養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいいきいきサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業 	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・事業を通じて相談に応じる。	・現状の取り組みを継続する。
	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安心生活見守り支援事業 ●光風台ふれあいサロン（通いの場事業） 	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・事業を通じて相談に応じる。	・現状の取り組みを継続する。
住民参加型在宅福祉サービスの推進 （日常生活支援事業） （事業化・活性化推進サービス）	たすけあい事業部	継続	<p>公的サービスでは補えない日常生活上の生活課題を解決するため、有償による住民相互による支え合い・助け合い活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たすけあい三和 	・現状の取り組みを継続すると共に、課題等を精査し、事業の更なる充実に努める。	<p>【取り組み状況】</p> <p>○活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業件数：158件 ・支援人数：316名 ・支援時間：855.5時間 ・受付人数：147名 ・受付時間：808.5時間 ・利用会員数：148名 ・支援会員数：77名 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの担い手不足 ・利用促進及び新たな利用者の発掘 	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	<p>高齢者の買い物不便の問題を解消する為に、週一回コープ移動販売車「ふれあい便」を光風台地区内8箇所で巡回実施。その際に、民生委員の協力のもと見守り活動も実施。</p>	・広報等を活用し、潜在的な対象者を掘り起すとともに事業の充実に努める。	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日（午後）に光風台地区内8箇所で販売。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進及び新たな利用者の確保 	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
地域包括ケアシステム構築への環境整備 （高齢者地域支え合い事業）	生活支援部 （第2層協議体）	新規	<p>高齢者を地域全体で支えるための仕組みづくり（地域包括ケアシステム）の構築に向けた「話し合いの場・議論の場（第2層協議体）」設置及び推進。</p>	<p>・高齢者を地域全体で支えるための仕組みづくりの検討。</p> <p>例）コープ移動販売車「ふれあい便」、福祉施設の福祉車両を利用した買い物支援等</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>○「第2層協議体会議」を5回開催。（6/29、7/19、12/11、2/6、2/22）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査、お風呂ツアーの施行実施に向けた検討。 <p>○ニーズ調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場での現地調査及び町会回覧による調査を実施。 ・対象者：一人暮らし高齢者等 	<p>○お風呂ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂ツアーの試行実施に向けて再度準備を進める。 ・試行実施を踏まえ、地区全体での取り組みの実現に向けて検討・準備を進める。 ・地区内の社会福祉施設との連携強化、協働体制づくりを進める。

町内会における共助体制の仕組みづくり	生活支援部 (第2層協議体)	新規	近隣同士の声かけ運動を行い、町会全体の共助体制につなげ、町内会での共助体制の仕組みづくりを検討する。 例) ゴミ出し、ゴミ集積場の掃除当番、回覧板届、留守宅の一時的な高齢者や幼児の見守り、宅配便の受け取り代行…等ちょっとした困りごとをお互い様で手助けする仕組み	・近隣同士の声かけ運動を推進し、各町会の実状に応じた活動の実施の検討。	・調査期間：12月～3月 ・回答者数：391名 ○お風呂ツアーの試行実施 ・光風台地区をモデル地区として、年度内の実施に向けて準備したが、昨年の台風被害や新型コロナウイルスの影響により次年度に延期した。 【課題等】 ・お風呂ツアーの本格実施に向けた体制づくり
--------------------	-------------------	----	---	-------------------------------------	--

3. みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり（安心・安全部・ネットワーク部）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	2019年度実績	令和2年度の取り組み
地域住民の緊急時の対応体制の構築 (緊急時連絡カードの配布・更新)	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：12月	・町会と連携し、定期的な更新の継続に努める。	【取り組み状況】 ・12月15日(日)の推進委員会で更新を依頼・実施した。	・現状の取り組みを継続する。
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「医療・災害時緊急連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：10月	・町会と連携し、定期的な更新の継続および転入・転出に伴う実状把握に努める。	【取り組み状況】 ・10月19日(日)の推進委員会で更新を依頼・実施。	・現状の取り組みを継続する。
	ネットワーク部	養老小学校区小域福祉ネットワーク	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：9月	・町会と連携し、9月の「防災の日」に合わせ、更新を行うことにより、防災への意識付けにつなげるよう努める。	【取り組み状況】 ・7月6日(土)の推進委員会で更新を依頼・実施した。	・現状の取り組みを継続する。
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●町会単位で随時見直し	・町会と連携し、定期的な更新の継続に努める。	【取り組み状況】 ・隔年で実施しており、今年度は実施せずに次年度に実施予定。	・現状の取り組みを継続する。(令和2年度は実施年度) ・新規事業として、携帯型「緊急時連絡カード」を作成・無料配布。
子どもの安全・安心を守る活動の推進 (登下校の見守り・あいさつ、声掛け活動)	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	・登校時の見守り活動 週1回小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。 ・下校時の見守り活動 散歩時を利用した見守り活動を随時実施。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・登校時の見守り活動(毎週水曜日)1,605名参加 ・下校時の見守り活動(随時)992名参加	・現状の取り組みを継続する。
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	登校時の見守り活動 原則月1回以上小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・毎月第一水曜日実施	・現状の取り組みを継続する。
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	登校時の見守り活動 原則月1回以上小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・年13回実施(原則月1回以上)480名参加	・現状の取り組みを継続する。
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	登下校時のあいさつ、見守り活動 毎日の小学校児童の登下校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。また、戸田小学校区小域福祉ネットワークと協働により、月2回中学校内のパトロール、下校時のあいさつ見守り活動を実施。	・現状の取り組みを継続に併せ、見守り員の募集を広報紙等で呼びかけ担当の確保に努める。	【取り組み状況】 ・小学校：下校時のあいさつ・見守り活動を全登校日実施。 ・中学校：あいさつ見守り活動を月2回、戸田NWと協働で実施。	・現状の取り組みを継続する。

地域の安全を守る活動の推進 (防犯パトロール)	ネットワーク部	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	「光風台団地内迷惑路上駐車追放運動」として、警察官を交えた合同パトロールを実施	・路上駐車は事故原因にもつながる為、現状の取り組みの継続に努める。	【取り組み状況】 ・警察官を交えたパトロールを年4回実施。 ・迷惑路上駐車追放のチラシ・ポスターを作成し14町会に回覧・掲示。	・現状の取り組みを継続する。
災害時の助け合い活動の意識啓発、災害に強い地域づくり (災害支援ボランティア事業)	安心・安全部		継続	自ら考え・学び・行動する「地域住民主体の防災」への意識を転換できるよう勉強会を実施。	・地域住民主体の防災に向け、避難所立上げ訓練や運営訓練等、実務的な訓練へ繋げる。	【取り組み状況】 ○勉強会 ・1月28日(火)、参加者33名 ・内容：講義「自分たちの住むまちのリスクと備え(風水害)」、意見交換、非常食の配布 ○災害アンケート ・台風15号による被災状況・対応について三和地区内の全町会長にアンケートを実施。 ・アンケート結果を地区社協広報紙「さわかせ第17号」にて掲載・報告。 【課題等】 ・防災に対する意識の向上、知識の習得 ・地区社協関係者以外の参加促進	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。

4. みんなの顔がつながる、取り組む為の連携と基盤づくり(連携・基盤づくり部・ネットワーク部)

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	2019年度実績	令和2年度の取り組み
地域の特性に則した福祉活動を推進するための地区行動計画の具現化 (地区行動計画の推進)	連携・基盤づくり部	新規	地域住民やその地域にある組織・団体等関係者が、地域課題や地域づくりの目標・方策を共有し、同じ方向を向いて地域福祉の推進を図る。	・計画に基づいた活動の進捗状況の検証、また、結果を振り返ることにより課題を明らかにするとともに、次の活動へ繋げる。	【取り組み状況】 ○「三和地区行動計画推進委員会」を4回開催。 ・第1回～第3回は、「市原市地域福祉計画の見直しに向けた意見交換会」を実施。 ・第4回は、「三和地区行動計画進捗状況シート」に基づき検討。 【課題等】 ・取り組み内容には、抽象的なところがあるため「各部」及び「地区行動計画推進委員会」で、出来る限り具体的な内容とする必要がある。	・課題解決に向けた検討を進めながら、現状の取り組みを継続する。
小域・中域福祉圏域の連携・協働体制の強化 (連携・協働体制づくり事業)	ネットワーク部	継続	小域福祉ネットワーク(小域福祉圏域)間の情報や課題の共有また、ネットワーク同士、地区社協(中域福祉圏域)との情報の共有、連携・協働体制を構築するために会議を定期開催する。	・一層の情報や課題の共有、また、課題解決に向けた方策を協議することにより、相互理解と連携体制の強化に繋げる。	【取り組み状況】 ・「ネットワーク連絡会議」を2回開催。(12/8、1/24)	・現状の取り組みを継続する。
担い手の発掘と育成 (人材育成事業)	連携・基盤づくり部	継続	地域福祉活動に取り組む新たな担い手となる人材の発掘や育成に向けた取り組みを推進する。 ・他機関が開催する研修会への参加等	・地区社協事業に住民(ボランティア)の参画を呼びかけ、担い手の発掘に繋げていく。	【取り組み状況】 <u>人材の発掘</u> ○連携・基盤づくり部における検討内容・意見 ・地区社協で行っている活動については、助成金を交付している団体と交	<u>人材の発掘</u> ○部会議での意見について、引き続き検討を進める。 ○サンハートまつりへの出店(1/24開催予定)

				<p>流する機会を設けるなど、担い手発掘のきっかけづくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンハート主催のごみ拾い活動（さんさんクリーン大作戦）に参加しているが、地区社協独自の事業を実施し、住民同士のつながりを深め、地域福祉活動の担い手となる人材の発掘に繋げる。 ・日常のボランティア活動で出来るだけ早期に責任者などを決め、後継の意識を持たせる。 <p>人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外部研修会への参加 ・7/22 情報発信強化セミナー（広報紙編）、2名参加 ・12/18 子育て支援者交流会、4名参加 ・1/28 第2層協議体関係者フォローアップ研修会、7名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支は赤字にならない程度で良しとし、目的をこれまでの「自主財源の確保」よりも以下に重点を置き進める。 ・地区社協活動を広報し地域住民とのつながりを深めるとともに、活動に興味を持つ人材を見出せるような場とする。（のぼり旗、地区社協の活動パンフレットの作成・配布、地区社協のユニフォーム作成の検討） <p>人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みを継続する。
活動財源確保 （賛助会員制度）	連携・基盤づくり部	継続	<p>地区社協が行う地域福祉活動・事業の充実・強化を図るための財源確保のため「賛助会員」制度の維持を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係組織・団体に広報紙やチラシを町会回覧し、地区社協活動・事業の周知、理解の促進を図る。 ・地区社協理事が所属する団体への会員募集の働きかけを強化する。 	<p>【取り組み状況】</p> <p>賛助会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2019年度実績 ・235件（H30：278件） ・533,000円（H30：515,000円） ○前年度会費の使途 ・多目的テント2張り、備品収納庫1棟の購入・設置 ○広報紙「賛助会員特集号」3/1発行（加入のお礼、会員名、口数等掲載） <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員募集活動を行う理事に負担が掛かっている。 ・部内における「賛助会員募集」の事務処理関係（とくに広報紙発行作業）の負担が大きい。 ・会費の有効活用、明確化 <p>自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サンハートまつりへの参加（出店） ・1月26日、16名参加 ・コーヒー、甘酒、大根の販売 ・売上利益 7,080円 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上げが少なく自主財源の確保に繋がっていない。 ・参加する趣旨・目的の見直し 	<p>賛助会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度発生した台風15号、19号による暴風、21号の豪雨による被害に加え、新型コロナウイルスによる経済的影響など、現在、非常に厳しい状況である。このような状況を鑑み、令和2年度は賛助会員の募集を休止する。 ・来年度以降については会員募集を再開する方向で進める。 <p>自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サンハートまつりへの参加（出店） 収支は赤字にならない程度で良しとし、目的を「自主財源の確保」から以下に重点を置き推進する。 ・地域住民が集まる場であることから、地区社協の活動を広報し、地域住民とのつながりを深めるとともに、活動に興味を持つ人材を見出せる場とする。 ・三和地区社協の名称や活動を広報するための「のぼり旗」の作成、「地区社協の活動パンフレット」の作成・配布、地区社協のユニフォームの製作などを検討する。